



一、すでに政府のビザ発給方針を取り消すよう抗議している中国政府の外圧や、国内の反対勢力に屈することなく、毅然とした姿勢でビザ発給方針を貫徹されるよう要望する。

一、ビザ発給に当たっては、観光目的で家族とともに来日されるのであるから、平成十三年四月来日時のような「政治的な言動をしない」などの条件を付することのないよう措置することを要望する。

一、日本国内において、李登輝前総統やその家族に危害を加えるようなテロ行為に対しては、それを未然に防ぐ万全の措置を講ずるよう要望する。

一、政府は近い将来、台湾からの観光客に対するビザ免除の方針を表明し、一般の来日を「断る理由がない」と承認したからには、李登輝前総統がいつでも自由に来日できるよう、現時点で数次査証（マルチ・ビザ）を発給するよう強く要望するものである。

平成十六年十二月十六日

日本李登輝友の会会長 小田村 四郎

## 李登輝先生への歓迎メッセージ

先般は私も日本李登輝友の会の会員が「台湾李登輝学校

研修団」でお世話に相成り有難うございました。

さて、このたびは念願のご来日が実現し、心からお祝い申し上げます。

今般は奥様などご家族とご一緒に来日されるそうで、私も日本李登輝友の会としては、その目的の一つに李登輝先生の来日実現を掲げてこれまで活動してまいりましたので、真に慶びに堪えないところでございます。日本国民の大多数も心から歓迎しております。

ご家族とともに来日されてからは名古屋をはじめ、鈴木大拙や西田幾多郎、あるいは八田與一を生んだ金沢や母校京都大学のある京都などを見て回られると伺っております。また、元旦を日本で、それも思いで深い京都で迎えられるそうで、その感慨はいかばかりかと、これまでの来日経緯を思い起こしますと私も感慨一入でございます。

どうか存分に日本の美しい風景と年末年始をご堪能いただき、無事にご帰国になることを心からお祈り申し上げます。また、来年、暖かくなりましたら、ぜひ奥の細道を散策にいらっしやうございましたたく念願しております。

平成十六年（二〇〇四年）十二月二十六日

日本李登輝友の会会長 小田村 四郎

李登輝先生